

【母乳、放射能検査結果(第2次)】

「不安だけど、組合員の代表だと思って検査してもらいます」(柏市組合員)

ご協力ありがとうございます。

【結果の要旨】①母体で濃縮されない ②セシウムは検出されない(排出か?)

第2回目の検査を実施させていただきました。結果は以下の通りです。庄司先生(産婦人科医院)の助言で、現在、検体提出者の生活状況・飲料・食の状況についてのアンケートを実施しています。

検体	住まい	採取日	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	備考
	食品摂取制限暫定指標→		(300)	(200)	(200)	
Dさん	つくば市	3/30	6.4	不検出	不検出	つくば市庄司産婦人科医院より
Eさん	柏市(1回目)	3/30	36.3	不検出	不検出	23日以降、飲料水・炊飯はペットボトル水。外出あり。4/7再検査
Cさん	守谷市(2回目)	3/30	8.5	不検出	不検出	(生協職員)双子出産後23ヶ月/勤務中。

(検体) 母乳(100cc+α) (検体数)3 (単位)ベクレル/kg (検査機関)東京ニュークリアサービス つくば開発センター (測定器)ゲルマニウム半導体測定装置 SEIKO EG&G社製 GEM20P4型 (測定時間)1800秒 (測定方法)科学技術庁放射能測定マニュアルに準拠

■地域の水道水の放射能と組合員母乳の検査結果(1次・2次まとめ)

月日(曜)	原発の状況	汚染の拡散	日(曜)	つくば市		つくばみらい市		守谷市		柏市	
				【水道水】ヨウ素 セシウム	【母乳】ヨウ素 セシウム	【水道水】ヨウ素 セシウム	【母乳】ヨウ素 セシウム	【水道水】ヨウ素 セシウム	【母乳】ヨウ素 セシウム	【水道水】ヨウ素 セシウム	【母乳】ヨウ素 セシウム
11日 金	東日本大震災	3km圏内避難命令	11日 金								
12日 土	福島原発1号機水素爆発/ベント開始	20km圏内避難命令	12日 土								
13日 日	海水注入		13日 日								
14日 月	福島原発3号機水素爆発		14日 月								
15日 火	4号機使用済燃料露出・水素爆発/2号機	20-30圏内屋内退避命令/北北東強風	15日 火	北北東の風で放射性プルーム(雲)が関東一円を覆う							
16日 水	3号機周辺400mSv		16日 水								
17日 木			17日 木								
18日 金	ほうれん草から基準値超の放射能		18日 金								
19日 土	牛乳から基準値超の放射能		19日 土								
20日 日			20日 日	↑つくば市役所 4.9 1.88							
21日 月	敷地内5地点土壌採取→3/28プルトニウム検査	雨により放射能降下(第2ピーク)	21日 月	降雨で、地上及び河川に降り注ぎ汚染→浄水場へ							
22日 火	上空からの放水開始	金町浄水場で210ベクレル	22日 火					↓守谷浄水場		↓流山浄水場	
23日 水		ちば野菊の里浄水場で220ベクレル	23日 水	↑つくば市役所	Aさん		Bさん	80.1 1.52	Cさん①	100.0	不検出
24日 木			24日 木	8.3 不検出	8.7 不検出		不検出 不検出	↓守谷浄水場	31.8	不検出	↓流山浄水場
25日 金			25日 金					48.0 不検出		33.0	不検出
26日 土	2号機タービン建屋地階溜まり水放射能		26日 土					38.0 不検出		14.0	不検出
27日 日			27日 日	↑つくば市役所				26.0 不検出			
28日 月			28日 月	8.2 不検出				↓久保浄水場・谷和原浄水場			
29日 火			29日 火	14.9 1.06	Dさん			9.0 1.77	Cさん②		Eさん①
30日 水	1号機タービン建屋発煙		30日 水	↑霞ヶ浦原水	6.4 不検出			↓守谷浄水場	8.5	不検出	不検出 不検出
31日 木			31日 木	13.4 1.05				5.9 不検出			不検出 不検出
1日 金			1日 金					↓守谷浄水場			不検出 不検出
2日 土			2日 土	11.2 不検出				5.0 不検出			不検出 不検出
3日 日			3日 日	↑霞ヶ浦原水							不検出 不検出
4日 月	放射性排水海洋放出		4日 月	10.1 0.90							不検出 不検出
5日 火			5日 火	↑霞ヶ浦原水							不検出 不検出
6日 水			6日 水	7.1 不検出							Eさん②
7日 木			7日 木	↑霞ヶ浦原水							4/7再検査

【東日本大震災一復興支援特集】

被災生産者復興支援基金

1週間で435万円(1,268組合員)

(4/7時点で1,634組合員、500万円を突破)

組合員の被災地に寄せる気持ちを、「応援メッセージ」とともに

生産者に届けます!

4月中旬より、供給担当・商品担当が順次被災産地に入り、組合員消費者の声と気持ちを直接伝えて来ます。職員も現地、現場に入る経験を通して、組合員と生産者をつなぎ、生産者に寄り添いながら、その生活と生産再開を支えます。いのちある自然の食べ物を早く組合員家族にお届けできますように!

●今週、山木屋グリーン牧場(福島) 丸友しまか(岩手) 応援企画!

●「有機野菜セット生産者」からのメッセージ

【今週の紙面】

- 【P1】 被災生産者復興支援基金、メッセージと共に生産者へ
- 【P2】 被災地生産者情報(第4報) 【P3】 被災地支援報告(福島・茨城ひたちなか)
- 【P4】 組合員さんからの「母乳」放射能検査結果(第2次) 状況のまとめ
- 【内面】 組合員の声・職員被災地支援活動報告 放射能空間線量推移・海洋汚染について 有機野菜セット生産者からのメッセージ、応援契約者募集!

現金での受け付けに加えて、注文書でも申し込めるようにしました。

産地災害復興基金募金 (1口 500円)

注文用紙で申し込めるようにしました No. 467

○注文用紙のこの番号に「1」と記入すると500円、「2」記入で1,000円となります。
○商品代金と同じ請求にて自動引き落としをさせていただきます。5月4週まで継続します。

【東日本大震災一産地状況(第4報)】

	産地名	所在	被災状況・安否・再開・復興見通し等	生協としての復興支援
岩手県	コタニ(産地) (海藻・乾物)	三陸町 綾里	電話・水道はまだ不通。再建復興計画を練るために現地入りしていた社長が4/8に東京に戻る予定。綾里では自衛隊による遺体の捜索がまだ行われており、重機による瓦礫の撤去も自衛隊と行政によって順番に入ってゆくことから、すぐに工場の片付けになりそうにない。	社長の帰京を待って、どんな支援ができるかを相談する予定。
	共和水産 (朝獲りイカ)	宮古市	4/4より生産再開。	5月支援企画予定。
	丸友しまか (鮮魚セット)	宮古市	宮古市場が4/11から一部再開予定。「市場が再開され次第、組合員の皆さんに”鮮魚セット”を届けたい」と。	今週「島香ガンバレ企画」
宮城県	高橋徳治商店 (練り製品)	石巻市	現在の避難所は近々閉鎖される予定(どこにも行けない人が20人位いるとのこと)。隔日で本社工場の泥さらいを20名ほどの従業員みんなで行っています。最後まで行方不明だった社員2名の生存が確認でき、全従業員72名無事。しかし、すぐには工場再開のメドがつかないことから3月末でいったん解雇とし、最後の給与を手渡す。 自宅兼事務所を探して引越予定。時間がかかるが、工場の再建計画を検討中。	●4/9工場泥さらいへ 4/9工場泥さらいの手伝い申し出(雨天の場合中止) 常総生協として従業員の受け入れを申し出。
	まるたか水産 (生かき)	石巻市 萩浜	生協からの支援物資を近隣避難所に配布。地域の人達にかきの筏(いかだ)は全て流されてしまったが、冷凍かきの原料は助かったので、カキの加工品から製造再開予定。	●3/26まるたか水産を通して地域の避難所に物資供給。
	東北トクスイ (シーフードミックス)	塩釜市	生産再開!	4月3日から企画再開予定!
	山木屋牧場 (ノンホモ牛乳)	川俣町	放射能汚染で見透しつかず。1年は牧草もダメだろうし、牛の体調も戻らず、もうお産は無理。牛舎に閉じ込めた牛、ストレスで2頭死亡。お母さんと二人でやれる範囲にするため今月は6頭処分予定。牛乳の放射性ヨウ素は150ベクレルに低下。	●4/2、生活物資支援に。 震災・原発事故前の原乳で作ったチーズ・アイス等を生協で一括買い上げ。今週より支援企画。
久慈浜丸小漁協 (豆あじ、しらす)	日立市	福島原発からの放射能排水の海洋放出により出漁見合わせ。網の補修等、出漁準備。		
大瀬沼漁協 (じじみ)	茨城町	船の引き揚げ作業に入り、4/11日よりじじみ漁開始予定。	5月下旬より「活じじみ」再開予定。	
塩屋 (しじみ加工)	ひたちなか市	液状化で床から拭きだした泥砂を生協と有機農研のみなさんに除去してもらい、本当に感謝。きれいにしてもらった新工場の床補修をした上で、稼働をはじめます。	●4/2(土)、生協職員+茨城有機農業研究会合同チームでひたちなか市の新工場の泥さらいに出動。	
鈴木牧場 (ヨーグルト・チーズ)	石岡市	4/4より供給再開。放射性ヨウ素131:7.8ベクレル、セシウム134:1.7ベクレル、セシウム137:4.6ベクレルでかなり低位。		
天池さん やさとの仲間 宇治田さん 阿部さん 微生物農法の会 清水農園	石岡市 行方市 坂東市	皆、「種を播こう! 耕作しよう! 被災地にも届けよう!」と。 茨城有機農研を中心にして、被災地へ野菜を届ける支援運動がはじまった(週1回みんなの野菜を集めてトラックで被災地へ)。 ひたちなかの塩屋加工場の復旧支援まで。	生協から組合員へ呼びかけ「出荷規制や風評に抗して生産者を支えよう!」	

あきらめずに頑張っ！山木屋牧場(福島)、塩屋さん!(茨城)

●4/2 福島県川俣町 山木屋グリーン牧場

「これ、幻のチーズになるかもしれないなあ……」(高橋さん)
「そんなこと言わないで、頑張ってもう一度作ろうよ!」(生協)

山木屋応援企画…今週チーズ、アイス 来週はバター

お母さんがとても落ち込んでいたので4/2物資を持って励ましに。茨城の有機農家、八郷の阿部さん、鈴木良一さんもごいっしょしてくれました。



「同じ酪農家と話しているとどんどん暗くなってしまい……。みなさんと話せて元気をもらったような気がする。ずっと家の中にいるだけで気が滅入り、夜眠れずに起きてしまう。震災と原発事故直後は、前の道路は浜側から避難する車ですごかった、停電の間、車の中で寝ていたら、夜中自衛隊の車が列をなして浜に向かう光景は異様だった。原発事故のあとは牛舎に入れたけど、ここは山の水を濾して飲んでるから牛からも放射能が出ちゃうんだ」(お母さん)

「牛も普段はほとんど外にいるのに、牛舎に閉じ込めているので外へ出せと騒ぐ。ストレスに耐えきれない牛もいてモツヤで健康状態・精神状態がわかる。2頭がストレスで死んだ。牛の体調が戻るには一年か

かかるだろうが、もう子供を産めないだろう。従業員ももうここには来れないだろうから、母親と自分でやれる範囲の頭数(20~30頭)に減らしてやってゆかないとは思っているが、果たして1年持ちこたえられるか。国の補償は当てにできない。牛乳・チーズプラントも牛の体調と乳質が回復しなければ無理」と



でも、埼玉の実家に避難していた奥さんと子どもも新学期で川俣に戻り、家族がいっしょに。



しばらく、ノンホモ牛乳は無理かもしれませんが、震災前の原乳で作ってあったチーズ、アイス、バターを頂いてきました。今週から、支援企画します。

4月2日の福島支援では、三春の船引有機農業研究会(会員15名)橋本さんも訪問してきました。

●4/2 茨城県ひたちなか市、塩屋さんの第二工場

「本当はこの新工場、諦めようと思っていた。でもみなさんがこんなにしてくれたことうれしくて、必ず恩返しします」(塩屋さん)

しじみの選別所とは別に、三陸や福島、茨城のお魚の加工を始めようとして新しい工場を買った矢先で震災に遭い、液状化で床から泥砂が吹き出した塩屋さんの第二工場。

4/2、生協職員+茨城有機農業研究会の合同チームで支援に。総勢20名で泥の除去と排水工事を。

「本当にありがとうございました。あの施設、本当はもうこの工場は諦めようと思っていたのですが、何と言ってい

いか、こんなに多くの皆さん、特に有機農業のみなさんまでが私たち水産関係のところに支援に来てくれるなんて……。有機のフォーラムでちょっとお会いしただけなのに、ただでさえ野菜の風評被害があって大変なのに、私共の支援に来てくれるなんて。ここを拠点に東北・茨城のお魚を提供して立ち上がる力を頂きました。みなさんによろしく伝えて下さい。必ず 恩返しします。」と塩屋石原社長。

